



たんぽぽだより



令和7年9月号 No.122
砂川市病児・病後児保育施設
Tel 0125-54-2278

日中はまだ夏と変わらず暑い日が続いていますが、朝夕は涼しい風が吹き、過ごしやすくなってきました。日が落ちるのも早くなり、秋はすぐそこまで来ているようです。夏の疲れが出やすいこの時期、体調には十分気をつけましょう。先月は急性上気道炎、急性気管支炎・肺炎、ぜん息・ぜん息性気管支炎での利用がありました。



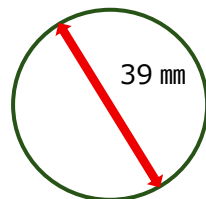
救急の日 (9月9日)

9月9日を「救急の日」といいます。すり傷は流水で汚れを落とす。鼻血が出たら鼻の下の方（小鼻）を押さえる。やけどは流水で冷やすなど、けがの基本的な対処方法を知っておくといいですね。おうちにある救急セットも、忘れずに見直してくださいね。

小さいものはしっかり保管

3歳の子どもの口を開けた時の最大口径は39mm、のどの奥までは51mm。トイレトーパーの芯を通るものは要注意！

玩具、薬、ボタン電池など身近なもので飲みこむと危険なものは子どもの手の届かない場所に保管しましょう。



防災の日 (9月1日)

防災の日は、関東大震災の教訓を忘れないという意味と、台風への心構えも含めて制定されました。災害が発生したときの避難場所や家族間での連絡方法など、この機会に話し合って確かめておきましょう。地域のことをよく知る機会にもなります。



災害ってなあに？

火災や地震、台風、水害（洪水、土砂災害、高潮など）、噴火や雪崩などの自然災害をはじめ色々な災害があります。



ご家庭でも地震や台風などの災害に備えて、非常持ち出し袋の点検や避難場所などを確認しておきましょう。



子どもの事故を防ぐヒントは「ヒヤッと」にあり！

子どもがけがをしそうで「ヒヤとした」ときこそ、次の事故を防ぐチャンスです。「無事でよかった」とすませるのではなく、なぜヒヤとしたのかを見直しましょう。

1 「ダメ！」「危ない！」は“そこが危険”のサイン

子どもをしかって制止するよりも、ものの置き場所をかえるなど、子どもが安全に過ごせるよう環境を整えましょう。



2 一度あれば二度、二度あることは三度ある

危険と思ったら、必ず理由や経緯を考えましょう。原因がわかれば対策がとれます。対策をしないと、大きな事故につながる危険がそのままに。



3 大人もいっしょにやってみる

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、いっしょに遊んで正しい使い方を示します。

